

## 泌尿器科

### 診療科のご紹介

#### 泌尿器科とは

当院の泌尿器科では、副腎、腎、尿管、膀胱、尿道のいわゆる腎・尿路の疾患と男性の性器系（精巣・前立腺など）の疾患を取り扱います。

具体的な疾患は①尿路性器腫瘍（腎がん・膀胱がん・前立腺がん・精巣がんなど）②尿路結石症（腎結石・尿管結石など）、③尿路性器感染症（腎盂腎炎・膀胱炎・尿道炎・前立腺炎など）④前立腺肥大症、膀胱機能障害（頻尿・尿失禁・排尿困難など排尿に関する症状をひきおこす）などが主です。そのほか血尿の原因精査や腫瘍マーカーPSAによる前立腺がん検診なども扱います。

泌尿器科は外科系診療科のひとつであり、尿路性器腫瘍などさまざまな疾患に対して開腹手術のみならず、内視鏡治療や腹腔鏡手術など種々の手術治療を行います。しかし、広い泌尿器科の診療領域の中で手術治療の対象とならない多くの疾患には、薬物治療など専門的な知識とスキルに基づく治療で対応します。これら薬物治療に際しては地域医療機関と密接な連携、協力のもと治療を行います。

現在、日本は高齢化社会に入っています。医療のみならず、介護の現場でも適確な尿路・排尿管理の必要性が増し、また急増する前立腺癌や過活動膀胱などへの対応が期待されており、より良い生活の質(QOL)を求める期待も高くなっています。このように今後、泌尿器科との関わりがますます増加してくると思います。

当科は患者さん中心の医療を目指すことを基本とし、効率のよい医療を行いつつ、医療スタッフの知識と技術の向上をはかり、地域医療機関との密接な連携を保てるように努力することだと考えています。患者さんのニーズに答えるべく最先端の診断、治療を提供できるように日々努力し、今後一層地域医療に貢献していく所存です。

#### 対象疾患

- 小児泌尿器科（包茎、停留精巣、陰嚢水腫、先天性水腎症など）
- 感染症（腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺炎など）
- 尿路結石
- 悪性、良性腫瘍（腎癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣癌、陰茎癌など）
- 排尿障害（前立腺肥大、過活動性膀胱、尿失禁、間質性膀胱炎など）
- 骨盤臓器脱

## 診療、検査、手術について

### 当科の特徴

#### 1. TURis システム及び前立腺肥大症に対する TUEB 手術

当院は TURis システムを導入し、手術の安全性を高める努力をしています。また、このシステムを使用した前立腺肥大症に対する TUEB 手術も行っています。

#### 2. 尿路結石に対する体外衝撃波破砕術(ESWL)

開院以来、約 1 万件の ESWL の実績があります。外来通院で年間 350 件以上施行しています。

#### 3. 前立腺生検

超音波ガイド下に会陰より生検します。(年間 140～180 件)

#### 4. Interventional Radiology (逆行性腎盂造影、ステント挿入)

経尿道的にファイバースコープまたは内視鏡を挿入し尿管から腎盂にかけて精査します。水腎症に対してはステントを挿入します。年間約 200 件施行します。(PNL および TUL は手術であり上記とは異なります。)

#### 5. 女性特有の泌尿器系トラブル

女性特有の疾患に対して積極的に診断、治療を行います。

- 骨盤臓器脱 (メッシュを用いた修復術など)
- 腹圧性尿失禁 (尿道テープによる TOT、TVT 手術など)
- 間質性膀胱炎 (水圧拡張術など)